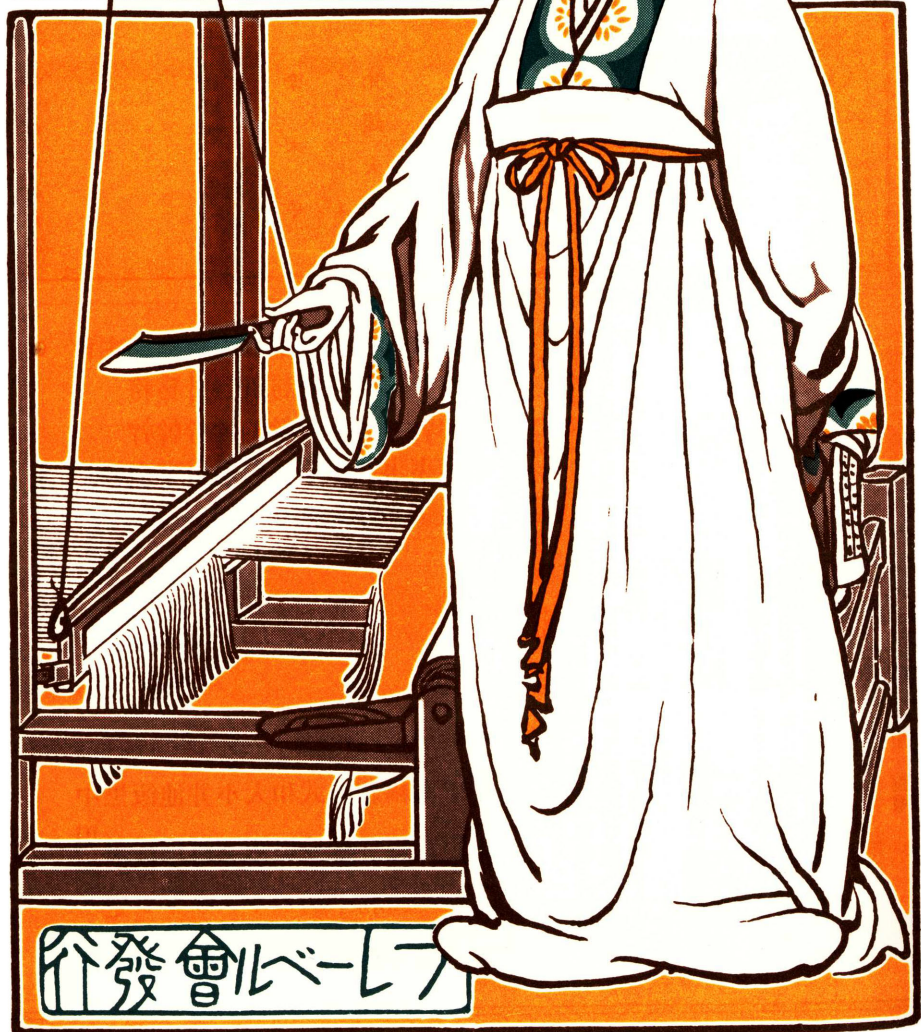
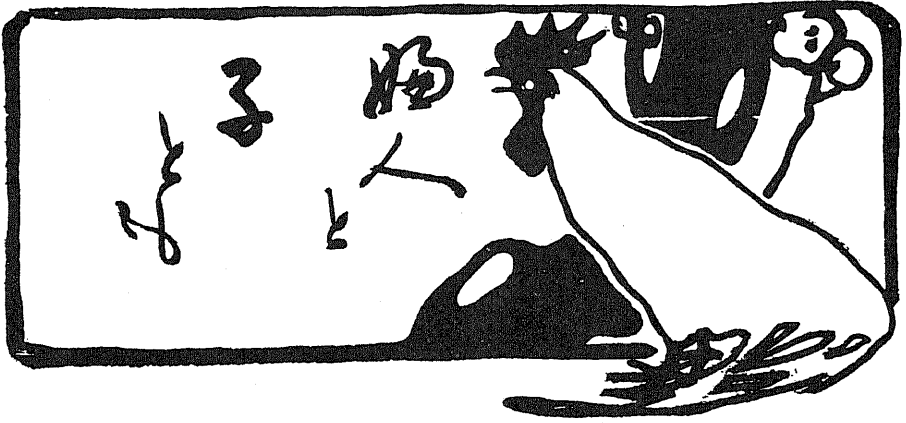


母 子 と 女 奴





號八第卷拾第



たてそむる志こゝろざしだにたゆまずば

龍たつのあぎとの玉たまもとるべし

(野之口正隆)

怠おこたらず行ゆかば千里ちさとの道みちも經いん

牛うしの歩あゆみのよし遅おそくとも

(讀人不知)

うきことうきことのなほ此上このうえにつもれかし

限かぎりある身みの力ちからためさん

(讀人不知)

兒童の遊戯に就て

(日本兒童研究會第一回講話會に於て)

文學士 倉橋惣三氏述

遊戯の問題は實に廣い問題でありまして、生物學的、心理學的、教育學的、美學的乃至社會的と云ふやうに、諸方面の研究に涉つて居るのであります。それで其の各方面の見方を一々論じて居りますれば大層大きい事になり従つて委しいことなるのであります。併し餘り廣過ぎて、全體の概括と云ふものが却つて分りにくくなることがあります。そこで、此の廣い問題を特に兒童の遊戯と云ふことを中心にして一とまとめにして一目の下にその大體の要點を了解する事は出来まいかと思つたのであります。即ち茲に述べます事は別に新しい研究でも何でもないものであります。從來種々議論されてをりまする兒童遊戯論中の主要なる問題を一括して試みに簡單なる圖式に作つて見たのであります。不完全の點は示教によりてだん／＼に改めてゆきたいと思ひます。

過 精 過
 剩 神 剩
 勢 活 勢
 力 動 能



諸想模 戲曲本 感 像 覺
 滑稽奇 感 本
 好自己保 存 本
 智 蒐 集 成 本
 社 會 性 力 能 能 能 心 情 能 做 像 覺

實生活

この圖の中心は云ふまでもなく兒童の遊戯であります。その上にあります四ツの項は、兒童の遊戯

過去生活の反復
 青年氣質健康の外教
 年齢別氣質健康の圍育

が何故生ずるかといふ所謂遊戯の理論の中で重なる物をあげたのであります。そしてその下に矢の印をかきましたのは、之れ等の諸理由がもとになつて兒童の遊戯が出来ること云ふ事を示した積りでありませぬ。處が加へる理由に依つて遊戯は生じますが、併し實際上その遊戯の内容なり形式なりを規定するものが無ければなりません。其の規定條件の中、兒童遊戯の心理的内容となる物が右の方の諸項、尙之れを實際上に規定し變化してゆく影響條件が左の諸項なのであります。而して此の三大條件に依つて實際兒童に行なはるゝ種々の遊戯といふものには、圓の兩側に付記してあります通り、二大特性があつて、しかも尙且此の遊戯が注ぎ込む處は遊戯ならざる實生活であると云ふので下の矢がそれを示して居る積なのであります。以下簡略に各項の説明をいたします。

遊戯の理論

第一 過剩勢力、兒童は何故遊ぶかとの疑問に對して、古來種々の説がありますのを、歴史的に辿つて見ますと、先づ第一に擧げなければなら

らないのがシルレルの考へであります。素より學説と云ふ程まよつた記述があるのであります。然るが、之が後に過剩勢力説として説かれます考へるものなして居るのであります。シルレルの有名なる『美育に關して』と題さるゝ書翰集中の第廿七番目の書翰の一節に『動物は缺乏がその活動力の動因になつて居る場合には働き、其の動因が力の充溢である時、即ち過剩の生活力が動物をして自ら活動せざるを得ざらしむる場合には遊びとなるのである』と云ふて居ります。尙又之れを説明して例へば獅子が荒野に咆哮し、小蟲が日光の方に群れ、小鳥が梢に囀るの類、皆生活上の缺乏がもとになつて其の慾求を充たす爲にばかり爲して居るのではない、左様いふ場合ならばそれは彼等の實生活上の仕事なのであるが、そういふ眞面目な目的があるではなし只其の充溢せる餘力を漏らし自ら樂む爲に斯かる事をし即ち遊ぶのであると云つて居ります。然してその上に尙此論を擯にして植物に不用の小枝や無駄花や餘計な果實があるのもやはり彼等の遊戯である

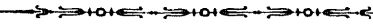
と迂言つて居るのであります。其の次に此の詩人的考へを心理學的に述べてをるのがスペンサーであります。即ち彼はその『心理學原論』の第二卷の第九章の審美感情論の中で之れと全く同じ考へを述べて居ります。『下等なる動物は自己保存の爲めにその全力を盡すのであるが次第に高等なる動物になるに従つてその時間と勢力とを生活の直接的必要の準備の爲にのみ用ひつくす事はない』そこでその餘剩を以て遊戯が起ると云ふのであります。スペンサーが自分は此の自分の考へと似た考へを嘗つて獨逸の何人か書いて居るのを、をぼろげに覺えて居ると云ふて居ますのは即ち疑もなくシルレルの事を指して居るのであります。尤もスペンサーの説は必ずしもシルレルの考へを繼承したと云ふのではなく、又其の考への上でも別に摸倣と云ふ一要素を加へ來つて居る所など（後に説く）の差違は存するのでありますが大體に於て同一系統に屬すべきものであります。次にやはり同一系統の説で明かに過剩勢力説を執つて居るのは伊太利のコロッアであり

ます。彼れも亦過剩勢力一點張りでは無論ないのであります。寧ろ第二の精神活動説の代表者として見るべきものであります。然し其の著『兒童の遊戯の心理及教育の中の『過剰なき所に遊戯なし』の一章の如きは明かに過剰力の考を述べて居るのであります。所で段々と此の諸家の考へを研究して見ますると最も著しく氣のつく事は、同じ過剩勢力説ではあるが、其の間にたしかに一つの變遷のあることとあります。即一口に云ひますればその過剰の勢力と云ふ意味が初めは主として運動的な筋力的の意味が籠つて居つたのが後には心理的な筋力的の意味を多く加へて來て居る事でありあります。即シルレルが單に『過冗の生活』と云ふ様な漠然たる語を以て言つて居つた事が、スペンサーでは『神經の過剩力』と云ふ稍細かい説明になつて來てゐる上に『摸倣』と云ふ純心理的要素を加へ、更にコロッアに至つては『心的能力』と云ふ事が主なる要件になつて來て居ます。そこで此の變遷を少しく批評して見ますと、初めの説が單に筋力的運動的の勢力のみを考へて居たのは

明かに誤りであつて、其の爲めに植物の無駄花までなぞを遊戯と見るやうな極端な比論にも陥つたのであります。併し遊戯の原因の中から此の動的な過剩勢力を全々除くことは出来ません、其の缺點を補ふに心的の活動を以てする必要があると共に矢張り此のもの考へをも確かに存して居らなければならぬのであります。即明かに此方面いづれも過剰を考へなければならぬのであります。『精神活動説』を執りながら尙ほ『過剰なしに遊戯なし』と云てゐるコロツアの態度は公平であると思ひます。

第二 諸精神活動。そこで此の過剩勢力の次に擧ぐべき事は諸精神活動であります。即ち既に述べました如く一家の意見として此の説を將に主張して居りますのはコロツアでありまして、其の著書には極く下等の生物に遊戯のないのは彼等の精神活動が無い若くは乏しいからである、精神生活の發達と共に遊戯の數が多くなつてゆくのであると云ふ事を動物界の實例について述べ殊に人類の遊戯は主としてその心的要素に基くものなる事を主

張して以下その所謂『心的要素』と遊戯との個々の關係を一一説明して居るのであります。而して此の事は我々尋常兒童をのみ見て居ります時は餘りに當然の事で反つて氣がつかぬのであります。併し所謂遲性兒、白痴兒等の場合に就て見ますれば、彼等に遊戯がいかに乏しいか、少くもその種類に於ていかに乏しいか、別るのであります。之れ即ち一方には彼等の健康状態の缺陷の爲めに運動的方面の勢力の過剰に乏しい爲でもありませうが又一方にその心的要素の缺陷に因ることは明かなのであります。而して後に説きます遊戯の心理的内容と云ふのが即此一つ一つにあたるのでありますから詳しくはその説明の時に譲りますが、其の諸精神活動中で殊に何が最も遊戯の根本的要素をなして居るかと云ふ事を昔から色々人が考へまして、多くは『模倣を以て説明して居るのであります。而して其の代表者として主要なのは、前述のスペンサー及び新らしく、グントであります。即ち單に勢力の過剰と云ふ丈だけでは遊戯の諸形式が分れてゆく理由の説明に困難な



所から、そこへ『模倣』と云ふ作用をとり入れたのであります。ヴントは元來兒童の遊戯を其の想像作用の産物として見てゆくのではありませんが、矢張り『模倣』を以てその形式の分れ方を説明して居ります。『人間及動物の心理に關する講義』の中では『遊戯は實際生活の動作を模倣』したものであると云ひ、近著『民族心理學』の中でも一層詳しく此の事をのべて兒童の遊戯を其の形式から傳承的遊戯、自製的遊戯の二種に分けて而して其の孰れも模倣によらないものはないと云つてゐます。即ち傳承的の遊戯では往來の遊戯が手本となり、自製的の遊戯では現在の實生活現象が手本になつて居るの差があるだけだと云ふ事でありまゝす、處で此の模倣説に反對してあらはれたのがグロースの本能説であります。

第三、本能、クローヌスは成る程遊戯中の多數が模倣によつて居る事は事實である、然し動物及び人間の遊戯の多くの中には全く模倣でないものが澤山ある、遊戯は模倣よりも一層自發的なものである、と云ふ考へから『動物の遊戯』『人間の遊戯』

の二大著を書いたのであります。此の二者の中、遊戯の理論に就ての氏の考へを窺ふには殊に前者の方が便利であります、其の中に段々と昔からの説を批評して、一切の遊戯は各種の本能に基いて生ずるのである、即其の本能が實生活上に現る、前に先づ遊戯としてあらはれるのであると云ふ結論をして茲に本能説をたてゝをるのであります。即ちグロースの考へではウーフェルがコロツアの譯書の序文に書いてゐますやうに動物及兒童の遊戯は Nachahmung, Vorübung, Nachübung (後カラ) なく Vorübung, Vorübung (前カラ) であると云ひたいのであります。尙詳言すれば、遊戯の形式は手本によつてのみまゐるのではなく、各本能がその形式を以つてあらはれるのだと云ふ事でありまゝす、それ人間の遊戯でも衝動に基いて遊戯の分類をしてゐます。處か此考へは從來の諸説に比して大に生物學的新見解を加へ來て頗る傾聴すべき物であり大に貴重すべきものであります。が、只惜いかな一つの缺點はグロースが餘り本能を主張しました結果云はゞ自然の勢として、凡ての遊

戲は皆其の生物の將來の實生活の準備乃至練習であるといふ事を餘り強く主張した事でありませう。蓋し事實上大抵の遊戯は皆何等かの意味（若くは關係）に於て將來の實生活の準備となつて居る事は疑ふべくもない事であつて此の點が明かにされた爲めに遊戯の價値と云ふものが大に著しく認めらるゝやうになつた事は之亦本能説の効でありませうが併し理論的に云へばそれはたい遊戯の結果たるに止まりまして、何も遊戯を自ら此の結果を豫期し若くは豫想して居る譯ではないのであります。即ち後から見るとその結果を見る事は出来ませんが其の故を以て直ちに遊戯そのものに有目的の意味を附する事は論を誤つて居るものであります。パウドキンが『動物の遊戯の英譯の序文中で、之れは餘り實際説だと評してゐますのは尤もの事でありませう。（此點は尙後に説く）そこで此の餘りに有目的に解せんとする考へに對してスタンレーホールの説が出て居るのであります。

第四 過去生活の反復、スタンレーホールは其の大著『青年期』の中でグロースの説に反對して、

遊戯は決して將來の有用の爲にのみ存するものではない、兒童の遊戯を廣く觀察すれば全く無用のものも少なくないといつて次の如き定義を與へてをります『遊戯は過去生活の運動的習慣及び心的生活を現在にまで殘留してあらはれて來る者である。而してその中には恰も彼の身體上の不用器官の如く不用活動である者がある』。即ち遊戯の源因を遠く進化論上の過去に置いた事はグロースと同じてありますが本能即有要と云ふ實用的見方から離れて遊戯の中に多くの不有用なる隔世遺傳（尙後に説く）に基くものゝあることを説いたところから新しいのであります。

扱て以上諸説（此の他にも多少の異説あれども畧す）を通過して見まするに、學説の歴史的發達上には互にその新着眼點を強く主張せんとするの結果、おのづからその以前の説を拒むるといふ風の傾向があらはれ易いのであります。併し實際兒童の間に行なはれてゐる所の殆んど無制限な多様な遊戯の種類を觀察します時は、必ずしも之れを説明するに一個の説を以てしなればならぬ

と云ふことはありません、又事實上いろいろの原因が複雑に交つて居ることを見るのであります。即ち歴史的にだん／＼顯はれて來ました右四つの説を總て存して、而して兒童の遊戯は之等各様の原因の總て、若くは特に孰れかに基くと云ふ事に考へるのが都合がよいと思ふのであります。依つて此の四つを一つに括つて兒童の遊戯の原因としたのであります。(つゞく)

○チレ毛の治療法

縮毛症の原因は未だ不明である、近來一種の黴菌が毛根に附着した爲めに起ると云ふ説もあるが、多くは先天的で、また營養神經の障害から來るものも此等は食事に注意して營養を良くするの一つの療法である、縮れ毛は輕いのや一時性のものであつたら風呂に入つた時毛を解き延した上を手拭で縛り蒸しながら直すのも効目があるそれから少し手重いのであつたら漢藥屋から甘草根の刻んだのを五匁程買つて來てそれに水五合を加へて煎じ、詰めた處でまだ熱い内に普通の癖直しの様にして用ゐると宜しい

子守の心得

樂天子

八

- 一、子守は子供の母親を助けて、子供を保育する最も重い役目であります。
- 二、子守は、父母、主人其の他目上の人に對しては、其の命令に従ひ教師の教へは確く守つて一心に己が役目を勉めなくてはなりません。
- 三、子守の心の善悪は、すぐに子供の心にうつるものでありますから、子守は常に正しい心でなくてはなりません。
- 四、子供は又子守の行を真似るものでありますから、子守は常に禮儀を重んじ言葉遣立居ふるまひにも氣をつけ子供のよき手本とならなくてはなりません。
- 五、子供は親切に取りあつかひ、猥りに叱つてはなりません、子供は愛されるれば愛される、程その人になつくものです、然し無暗に子供の機嫌を

取つて我儘のくせをつけてはなりません。
 六、子供こどもの身體からだは、極めてか弱いものでありますから、常に衛生えいせいに氣をつけねばなりません。

第二、子供こどもを負おふ時の心得
 一、子守こもりの子供こどもを負おふ、結びつけ帯おびは、大幅おほはばの天竺木綿てんぢくめんで長九尺ながきゅうせき以上のものがよらしい。

二、子供こどもを負おふには、結びつけ帯おびを子供こどもの脇下わきしたに取り、子守こもりの胸むねにて一つ結び後へ廻まはし、幅ひろを廣げ子供こどものおしりを包つつむやうにして、二度前にどまへにまはし、ゆすり上げながらしめ結びてすり下さらぬ様ようにするのです。

三、子供こどもを負おふに股またを廣ひろく引き分わけてはなりません。

四、子供こどもの眠ねむつた時は、手拭てぬぐひにて子供こどもの頭あたまから自分の肩かたにかけて、前まへにて結び首くびのぐらぐらせぬやうになさい、又赤兒あかごの内うちは眠ねむらないでも首くびがぐらぐらするから氣をつけねばなりません。

五、子供こどもを負おふて走はしつたり、子供こどもの頭あたまのはげしくゆれるやうな遊あそびをしてはなりません。

六、鼻緒はなぢの切れさうな履物はきものや、齒はのかけた足駄あしだを

はいて子供こどもを負おふて歩いてはなりません。
 七、子供こどもを負おふて物ものにもたれたり、つつぶして寐ねたりしてはなりません。

八、負おふた子供こどもをおろす時は、なるたけ人に手傳てづかつてお貰もらひなさい、若もし人の居いらない時は、しやがんで軟やわい敷物きものの上うへにおろすのです、立つたままするするとおろしてはいけません、

九、子守こもりが子供こどもを負おふ時は一尺五寸位いちじくごせんくらゐのきれいな布ぬいを肩かたにあて、負おひなさい。

十、子守こもりは髪かみの毛けをみだして子供こどもを負おふてはいけません。

十一、頭髮とうはつは悪わるい臭におのせぬやうに、おりおり洗あらいなさいしかし香におのする油あぶらなどつけてはなりません。

第三、子供こどもを抱いだく時の心得

一、子供こどもを抱いだくのにあまり固かたくしめてはなりません、又片手またかたてに物ものを持もつたまゝ抱いだくのもいけません、必かならず兩手りやうてで工合ぐあひよく抱いだくのです。

二、子供こどもを抱いだいて歩く時はよく足元あしもとに氣きをつけ物ものにつまづかぬやうになさい。

三、子供を抱いて居て、湯茶を呑んだり、あぶない物を持つたり、子供のためによくない食物をたべて見せてはなりません。

四、子供を抱いて飛び歩いてはいけません。

五、子供を抱くにはしやがんで、片手を子供のおしりの下へ入れ片手は背をおさへて抱くのです。立つて居て手を持つて引上げてはいけません。

第四、子供を遊ばせる時の心得

一、子供をおろす前、近所にあぶないものや、きつないものがあるかないかをよく調べた後でおろしなさい。

二、子供を地上におろすのはよくありません必ずきれいなしきものゝ上におろして遊ばせるのです。

三、子供をおろすに完全な場所でも近くに材木や小砂や大豆や糲などのほしてあるところはいいけません。

四、子供を椽などの高い所におろした時は少しでも、其側をはなれてはなりません、

五、子供をおろした時は、おしりや足の冷えぬや

うにするのです。夏でもむき出しはよくありません。

第五、多勢の子供を一所に遊ばせる時

の心得

一、多勢の子供を一所に遊ばせる時は、自分の子供がよろぶとも他の子供にけがをさせるやうな心配のあるものを持たせぬ様になさい。

二、子供同志の近よつた時特に氣をつけねばなりません、他の子供の眼をついたり、口の中へ指を入れてけがをさせるやうな事が時々あります

三、子供同志で玩具の取換をさせぬやうになさい。又他の子供の玩具を借りて與へるのもよくありません。

四、子供に食物を與えるには、他の子供にも少しづつ分けて與えるのです、自分の子供にばかり與へて、他の子供に見せて居るのはよくありません。

第六、子供を歩ませる時の心得

一、子供の歩み初めは、兎角うしろへ倒れ、ひとくおしりをうつことがありますから氣をつけな

くてはいけません。

二、子供の手持つて歩ませる時は、其の手を高く引き上げ又は強く引ばつてはなりません。

三、子供を歩ませる時地上をはたしで歩ませせてはいけません。

四、子供に不相應な重い履物や、大きな履物をはかせてはいけません。

五、子供を歩ませる時には、足元をよく見て、つまづきたほれないやうに氣をつけるのです。

第七、子供の泣く時の心得

一、負ふた子供が泣くからとて、妄りに振り動かしてはいけません、それ／＼手當をしてきげんを直さなくてはなりません。

二、守りは子供の泣き聲を聞き分けて手當をしてくれるのが必要であります。

三、生れてから六ヶ月位たつた子供の泣き聲を聞き分けて見れば六ツほどあります。

(一)自分の思ふやうにならない時は、はげしく泣きさげびますこの時はしづかになだめるのです。

(二)あくびしては泣き、泣きてはあくびするのはねむたい時であります、この時は静かに頭をなで、軽く脊中を叩いてやるのです。

(三)なみだも出すなるとなくあわれさうに泣くのは腹のへつた時でありますから早く乳をくれなくてははいけません。

(四)泣き聲が耳をさすやうな高い聲でじれて泣くのは、齒か耳のいたい時でありますから、醫者に見てもらふやうになさい。

(五)泣き聲がやんだり泣いたりして、兩足を縮め力をこめて泣くのは腹の痛む時です、薬をくれるか醫者に見てもらふか、早く手當をしなさい。

(六)其の外からだに故障がある時は其の局部によりて泣き方が違ひます、氣をつけて見なくてははいけません。

四、生れて一ヶ月後の幼児の泣き方にも六ツあります。

(一)眼を開き涙を多く出し、中聲で泣く時は、身體に痛み所のある時です、この時は直ぐに

泣きさげびますこの時はしづかになだめるのです。

下して身體を調べ、工合を直して負ひかえなさい。

(二) 眼を開き涙を出さず、頭を左右に動かして泣く時は退屈したのです、この時は脊より下して抱き歩き、玩具、小鳥、花物、草木等を見せなさい。

(三) 眼を細め眼中に少しくうるみを生じて泣くのは、眠くなつた時です、この時は静に寢臺に寝せるか、又は負ひ直して頭を軽く撫でるのがよろしい。

(四) 眼を開き涙を少し出し、聲に節をつけて泣くのは、腹のへつた時か水を呑みたい時です、この時は早く乳か水を與ふるか、又一時を凌ぐには煮へたぬるま湯を與へなさい。

(五) 眼をあいたりふさいだりして涙を出さず、力をこめて身體を活潑に動かし、高聲を發して泣く時は身體の發育に必要ある時です、この時は十分間程そのまゝ泣かせ聲の低くなつた時抱いて玩具、繪紙、小鳥、草花等を見せるのがよろしい。

(六) 怠に高い聲を出し、身振ひして泣くのは、まわりにあるものを見て驚き恐れた時です、この時は直ぐに脊より下して、手拭か自分の袖を子供の顔にあてて他に所くのです、又まわりにある物に氣をつけないさい、子供の夜なきは、此様な時に生ずるのが多い様です。

第八、兩便の時の心得

一、大便や小便の時をはずさぬやうに氣をつけないさい、若し取はづした時はすぐに掃除をして、子供のものはきれいに洗ふのです。

二、大小便をさせる時に子供のからだの工合をよくしておやりなさい、お尻をつきだし、からだをねせたやうなふうにして、やつてはいけません。

三、子供に大小便をさせるには、成るだけ便所にさせるのです、止むを得ない時でもなるだけ人目にかからぬ所がよろしい。

四、兩便所は汚さないやうに注意なさい。

第九、しめし取扱の心得

一、しめしは成るだけ丁寧に洗ひいつもきれいに

しておくのです。

二、しめしがぬれたり汚れたりした時はすぐに取りかへなくてははいけません、又その汚れた時は直ぐにお洗ひなさい。

三、しめしは必ず細を張るか、又は竿にかけて人目にかからぬ所にほすのです、地上にほすのはよくありません。

四、しめしをほしたら、よくたたんで、定めた入れ物に入れて置くのです、必ず取散して置いてはいけません。

五、子供のしめしを取かへる時はよくもみやわらかにして、あてなくてははいけません。

第十、子供に與へる飲食物の心得
一、乳兒の中は凡そ其の時刻を定めて家に歸り、乳を與へるのです、時間をきめずに與へるのはよくありません。

二、子供が飲食をするやうになつても時間をきめずにやたらに與へるのはよくありません。

三、子供に固い食物や消化のわるい物を與へてはなりません、又かたい食物を自分がかみくだい

てたべさせるのもよくありません。

四、子供に甘つたるい餡の多い餅菓子類は、よくありません、又果物の熟さないのはよくありません。

五、人が子供に物をくれた時は、自分が受けて禮をのべ後子供に與へるのです、他人から貰つたものは家に歸りそのわけを子供の親に話して、後子供に與へるのがよろしい。

第十一、玩具の心得

一、玩具は子供の教のたすけとなり、又運動にもなりて、筋肉の發達を助けるものであるから、其の種類は撰ばなくてはなりません。

二、子供に與へる玩具は、ブリキ細工や硝子細工の玩具はよくありません、木製、ゴム製、瀬戸焼、繪本などがよろしい。

三、子供に玩具を持たせて、狼りにさしずかまじき事をしてはよくありません、又一度に幾種も與へぬがよろしい。

四、子供が一ツの玩具に飽た時は取り換えておやりなさい。

五、玩具はなるべく大切にさせるやうに
なさい、若しこはした時はそのわけを父母に
申し上げるやうに
なさい。

六、他の子供の玩具を自由に使はせて
はいけません。

七、子供が他人の玩具を持つたり、あぶ
ない物を持つた時は、そのわけを説き聞か
せて、他の品物と取換へなさい、無理に
取つたり、うそをい
つて取るのはいけません。

八、子供が玩具を使つた後は、自分で
かたづけ、始末するやうに
なさい、けれども出すときは、
子供が出してやるのが
よろしい。

九、玩具は妄りに與へるの
はよくありません、その
場所にあつた時か眠りの
さめた時など、それ
相應の玩具を與へるの
がよろしい。

十、子供がほしが
るからといって、名も
知らぬ草木や木の實を
與へてはいけません、
毒のあるものがある
からよく氣をつけな
さい。

第十二、子供の身體を清潔にする
心得
一、子供の手の指は、たび／＼洗つて
おやりなさい。

い、汚きものや毒のついた物を持つ
たり、握つたりする
ことがありますが、氣
をつけねばなりません。

二、子供は鼻汁をよく
出しますから、たび
たび拭つておやりな
さい、又顔もおり／＼
洗つておやりなさい。

三、子供の手足の指
の爪はたび／＼切つ
ておやりなさい。

四、子供が食事をした
後は、清潔な布で口
の周圍を拭つてお
やりなさい。

五、子供の耳の垢は
おり／＼取らねばな
りませぬ、しかしこ
れは危いからよほど
氣をつけなさい。

六、子供を湯に入
れた時は、首、腋の
下、股、指の間等は
よく洗ふのです、頭
は別に湯を取つて
洗ひなさい、又湯
から上げた時は、乾
いた手でよく拭く
のです、濡れたまま
で、着物を着せる
のはよくありません。

七、子供の下着は
たび／＼洗つてお
やりなさい。

保育叢話

(承前)

光藤夫人

下田文學士が嘗て本誌に於て母親の事を論ぜられし時、孟母の虚言を忌みし事より其弊を御説きになりましたが、實に虚言、しかも母親が幼兒の面前で虚言をしますることの害は恐るべきものがあると思ひます、ワシントンの親が嘘を嫌はれしも、菊池男爵が子女を養育されるに、尤もひどく子供を責めらるゝは嘘をつきし時との事も理ある事と存じます。

虚言の恐るべき、或は有爲の人物を社會より葬らざるべからざる様な、恐るべき結果を來しますのは、よく新紙の三面記事に曝されてある事で皆様御存じで御座いませう。

名うてき強盜も其の罪惡の發現せし動機は嘘である事を思ひますれば、いかなる人も此の一點汚れなき幼兒の腦裏に嘘を忌み嫌ふの念を刻みつけて

おかなければなるまいと存じます、之れはだれも心得べき事柄で御座いますが、殊に此の幼時を教養すべき母親にありて切實に其の必要を認めるのであります、已に根を廣くしました樹木は之を抜き取る事が困難となります、已に幼時の心に嘘を平氣で言ふといふ様になりますれば、容易に之を矯正する事が出来ません、根の廣まらぬ中に雜草を抜き取るのは易う御座います、東西もわかぬ其の中に嘘といふ惡根を植付けない様にせねばなりません、所が實際世間の親御はいかゞで御座いませうか、素より身を教育界に入れて居らるゝ立派な人格を備へらるゝ親御は、別といたしまして、マ普通父様母様はいかゞで御座いませう、嘘を教へてならぬ子供を訓戒するのに決して嘘をいふものではないと存じます、嘘は泥坊の始まりですと教へらるゝ側から母様が子供に對しての舉動はいかゞで御座いませう、御言葉はいかゞで御座いませう、子供の泣くのを止める時虚言される事はありますまいか、我が命令に従はせようとして空事を言はれる事はないでしょうか、之等は止を得ない場

に限りません、それで實行し得らるゝ手段とは一寸六ケしい事もありませんが、其の心をよく念頭におきまして、常にかゝる場合に遭遇する毎に、よく熟慮を費しましたならば、すぐと實行し得らるゝ考が泛んでまいります、今迄嘘を以て平氣で、其の泣くのを止めたものが、俄に實行し得らるゝ手段ほか、取る事が出来ぬ様になりしましたならば一寸困る事の様に考へられますが、少くとも、高等女學校卒業位の學識を有せらるゝ、母様が、學び得たる識徳を以て、其の方法を考へ出されぬ筈はありませぬ、若し出来ないならば、其の人は應用の方の缺乏した人で立派な母様とは申されぬのであります、只此處に思をめぐらす事をつとめず、只一時的に其の功を奏し様とつとめるから、嘘を以て固めた様な人間が出来易いので御座います、私はよく其の實例を見受けます、若い美しい母親が子供の泣きせがんで仕方ない時、持てあぐんで居られると祖母様が奥の方から、マダ泣いて居るのか、待つて居らつしやい、今恐ろしいお化が、ソレ其處から、御覽〜それ其處をと、いは

れると母様も口を揃へて、ソレ坊や母様も恐い事よ、ア、おばーさんモ御免なさい、坊は泣きません、大人になりました、可い子で御座いますよと、二人がゝりで嘘を以て其の泣くのを止められる様な事があります、之に通ふ事はよく目撃いたしますが、之等はマールお嫁様の身分として、姑のされる事に不同意するわけには参りませんからやむなき事の様に御座いますが、モール母様になられたお嫁様ならば、無様に母様そんな嘘ばかりおつきなすつては……とは申されませんがマール平素からよく氣をつけて、成丈嘘を言はない様に、子供に仕向けなければならぬ、自己の抱負を、人の氣に障らぬ様、實行なされたらば、一家人が皆其の感化を受けて、悪い風儀が改まるので御座いませう、之れ位の事は出来なければ、一家の主婦とは申されずまい。何にいたせ人間は戦があらると何か大事があつた時ばかり、身命を捨て、盡すといふ様な事はかりが善行ではありません。人間の大それたのは平素の行で御座います、平素起き

動が大事なので、其の日其の時を慎む事が大事であり、之ればかりの事嘘を言ふたとて構はないとは、誰れの心にも起り易い所で御座います。其の之ればかりの事、と氣を許しますれば、塵も積りて山となるの諺に洩れず、つひには大なるうそになるので御座います、そこで其の母の信頼は薄らぎます、同時に母親を侮る様になります、子供は我儘を始めます、我儘が長じては、ついに父親でも先生でも構はず、一寸其の面前丈は慎みましても、かけで悪事を働く様になります、こゝに於てか濟度したい悪少年少女となつて、ついに世間からは疎まれ、憎落の道をたどるより外ない破目に陥りまして、一身一家を誤るやうになるのあるも事と存じます。

一獨乙人の見たる日本

藥川生

一般とは申されませんが、獨乙人は個人々々の日

本人に對しては頗る好意を表して居りますが、日本人全體としては、あまりそうでないかと思はれます。私の知つてをります、一獨乙人の如きは個人としては、大層親切に同情に富める人でありましたが、日露戦争當時の如きは、日本よりも遙かに露國の安危を顧慮して居るやうに見受けられました。

一度支那に勝ち更に露國を破つて、赫々たる光榮をになう日本國は、將來偉大なる使命を持つて居るものと思ひます。近來、新聞紙又は雜誌等に世界に於て日本人は優待され歡迎さるゝ記事を盛に見まするが、表面的でなく禮儀上でなく、骨肉相親むが如く日本を愛して居る西洋人は夥多ありませうが、思ふに之れは主として日本に對する皮層の觀察の爲め日本及日本人を誤解してゐる結果でありまして又一面には彼我文物の全く背馳してゐる爲めと思ひます。我々は彼等をして日本人の温和なる性質、高尚なる趣味を知らしむると共に、更に自ら練磨して一層進歩向上し眞の日本人の價値を認めさせたいと思ひます。

左に一獨乙人の見たる日本及日本人に對する觀察を述べて見ませう。

日本及日本人

日本は太平洋中に横はる一孤島である。元來の日本の住民はアイヌであつて、現今は僅かにエゾの一隅にその餘命をたもつのみにてしかも烈しき壓迫とアルコール中毒とは、彼等の滅亡を遠き將來にをかさないであらう。ベルツ博士の説によれば、アイヌは白哲人種系に屬すべきものであつて、現在の日本人はマレー人種と蒙古人種の混合したる人種である。日本の男子は我々の概念によれば、美と云はんより寧ろ醜と云はなければならぬ。身長及體力以外にも日本人は次の諸點により我々歐洲人と異なつて居る。即ち皮膚の色は暗褐色乃至黄色で、伶俐そうな然し或る意味に於て狡猾さうな顔色である。勁直なる黒色の毛髪を歐洲式にならばせんと努力して居るが頗るむづかしい。胸は長く足は短かい、鼻は一般に平たい、かるが故に顔全體が平たく見える。(成程外國人は鼻が高

いせいか顔全體が尖つて我々には見えませう。殊に異様なのは日本人の歩き振りである。(之れはよく我々の耳にする事で日本人の歩き振は餘程不思議に見えるものと見え日露戰役當時などスベインで發賣をされたがその他佛蘭西等に於ても同様ですが諷刺的繪葉書などに日本人の歩み振りを奇抜に模倣し一見憤慨にたへぬやうな嘲弄的のものさへありました。幼少より跪座する爲めでありませうか。御話が少し岐路に立入ります。一體跪座。風習は日本古來のものでなく、戰國時代にかなる方面より敵が切り込んで參りましても即座に應答が出来るやうにあのやうな姿勢をとつたものであるとの説を聞いた事があります。成程あぐらをかいてゐたりねをべつてゐるよりは迅速に身構が出来るでせうが、天下泰平の大御代造次顛沛も敵の爲めに身構へする必要もなくりました。今日は跪座する必要もないでせう。椅子による如きは善き風習と思ひます)。婦人は男子よりも多少倭少で非常に早熟である、婦人のみならず男子も、體力は遙かに歐洲人より

劣り、我々の最も活動する年齢に於て、日本人は
 はや繁雜劇務にたへ得られなくなる。
 日本國は我々と我球の反對の側にたつて居る、我
 が國（ドイツ國）に於て太陽の登らんとする頃日
 本に於ては人々が寢に就く。私は本國に電報を發
 する場合には、いつも午後に發信するを常とした。
 もしも午前に發信するならば同じ日の早朝到着す
 るの不便がある、それは日本に於て發信したよりも
 四五時間早くドイツに到着するからである。
 獨り時間に於てのみならず、あらゆる點に於て日
 本は我が國と相反して居る。我々には恰も事々物
 々顛倒したる世界にあるの感がある。
 先づ日本に於ては衣服を着して後袴をはく（彼等
 は御存知の通りツボンを穿ちてより上衣を着す、
 尤もツボンと我が國の袴とは全くその性質を異に
 して居ります）其袴の事をツボンと云ひます。
 原本にはマントルを着しのちツボンをはくとあれ
 どいかなる日本人と雖もマントルを着して後ツボ
 ンを着する人はありません。殊に我々に奇異に
 感ぜらるゝは、日本の書籍である。我々の書籍の

卷尾より讀み始め、我々の左より右に讀みゆくに
 反し右より左に讀みゆき、我々は左より右へ書せ
 ども日本に於ては上より下へ方にと書す。我々の
 書籍の注釋は頁の下方に記すれども日本に於ては
 上方に記す。全く顛倒したる一例を擧ぐれば他人
 の宛名を書く場合に、ヘルン、カールシュミット、カ
 フキングルストラアセ、マメロ五十三、ミュンヘン、
 ドイシテラントと書せども日本に於てはドイシテラ
 ント、ミュンヘン、カウフキングルストラアセ、五十三
 スメロ、ミュミットカールヘル、と字々反對に認む。
 その他日附等に就きても同様なり、獨乙文學を日
 本語に譯す場合は大抵文の終りよりなすを便利と
 す。勿論彼等の立脚點より見れば我々の文字は滑
 稽なるべし。彼等は洋字を蟹文字と稱す、それは蟹
 の如く横行する意より來りしものなるべし。
 我々が日本人と散歩を試むる時は、必ず我々を己
 の左方に行かじめ決して右方に立たしめず、そは
 左方即心臓の所在にて側は日本に於ては高貴なる
 側としてあるからである。（曾つて余の知る一獨
 乙人）去秋初めて日本に來りホテルに投宿した夕

頗る滑稽の事を演じました。即ちホテルのボーイが何か用事があつて氏を手招きする氏は倉皇戸を排して出てゐつて仕舞たのです。之れは日本人のなす手招は獨乙人にはあちらへ去れと云ふ意味なのです。あちらでは招ぶ場合には掌を上にして内方へ招くのです。然し之れは所かはれば品變るで或る獨乙人が一英人の許に招かれた事がある、食物を進められた時此獨乙人の大好物があつたので御代りをしやうと思つてゐました。それと見た英人は早速『御かへ下さいまし』とすゝめると、獨乙人は『サンキュー（難有う）』とやつゝけた。すると英人は手をひつこましてもう御代をくれな。獨乙人も變な顔をする英國人も變な顔をする、然し之れは言葉の相違でありまして、獨乙ではもつと食べたい時に『ダンケー（難有う）』とやる、英國ではもう澤山の時『サンキュー（有難う）』とやるのであります、斯る場合日本語で『アリガタウ』と云へばたべたい方にもなるしたべたくない方にもとれます。なんと日本語は外交的な言葉ではありませんか。

日本の家屋は主として木よりなり二階三階の建物は珍らしい。我々のガラスの代りに日本にてはうすき紙を用ゆる（或る英書に日本に於てはガラスはむしにめづらしき物にて我々が汽車に乗る時その窓ガラスに白色の横線がある、之れは日本人がガラスを何となきものと思ひ頭を打つけるの危険にそなへる爲めかく白線をひくものなりとありました。随分人を馬鹿にしてをるではありせんか、尤も外國に行つて四方八方に鏡があるので、鏡にはち合せしたり、自分に御辭儀したりする人はままあつたとき、自分（されば日本の家屋は非常に燃焼し易い。之れが日本に大火のある原因であらう。

日本の衣服即ちキモノは、肩より足に達するもので、我々の寝衣に多少類似して居る。衣服の袖は非常に幅が廣く、日本人はポケットとして用ゐてゐる。キモノにはボタンがない。たゞ一條の紐で即ち帯で結ぶのである。此の帯は非常に立派なるものがあつて日本キモノに對する費用は決して僅少のものではない。殊に盛装したる婦人の服装は

一つの審美的感をも吾人に興へる。今や、欧州の風俗習慣は漸々日本に侵入し、フラックを脚につけクラワツターをうしろむきにつける人はない。然しながら夏に於てはシャツ一枚のほか他物をも身につけぬ人、又は腿までのヤツケを着る人、或はチヨッキのみで上衣なくしかも眼鏡をかけてゐる人さへある。

帽子はあまり用ひない、時に婦人は各頭より顔を布にてつゝ、ひよりほか帽子類は一切用ひない。日本本来の帽子は漆でぬつた皿形のものであつて之れは雨に對しても頗る有功なものである。

婦人は嫁する時齒を染め眉を落す風習があつた、妻女併に娘は一般に厚化粧にして、ことに若き女は白粉にて顔の表面に新らしく一層をつくり口唇を眞紅に染む。富裕なる人々は小指の爪を長く伸ばして居る、之れは目下の烈しき労働をしないと云ふ證據である。

日本人は客の訪問日もしくは訪問時間を規定せず人はいかなる日、いかなる時に於ても自由に訪問する事が出来る、且その訪問時間は非常に長くあ

る、之れは日本のみならず一般東アジアに於いてその傾向をみとめるが、我々は夕方静かに讀書もしくは翌日の準備にとりかゝらんとするとき、忽ち下婢が一名刺を取りつぐ、さすれば私々は我々の用事をば貴重なる翌朝にまはさなければならぬい。我が或る日本人を訪問した時の事を次ぎに述べて見よう。まづ我々は人力車をやとう、人力車とは人をのせて人自らが車をひくのである、即ちこの人は一人にして馭者と馬とを兼ねる者であつて、彼等は非常に速い、私は日本人は世界一の疾走者ではあるまいかと思ふ、且その賃金は甚だ廉い、我々は訪問すべき家の前で車より下り、歩くと云ふよりもむしろ爬うやうにして入口を入り玄關に到る、日本の戸は左右にガラスので室毎に錠がある、と云ふやうな事はない、客間に通されて不思議に思ふ事は一つも家具のない事である。床の間に繪がかけてあつてその前に花瓶がおいてある、その他には机も箆笥も、ストープも鏡もない。やがて主人があらはれて來るがその談話は實のない事ばかりである、重に天氣に關して云ひ、又は極

めて平近にある物に關してのみである。かやうなる空談に數時間が失なはれるのである。日本にては一日に三度食事をそる、即ち朝と晝と夕とである、夕餐が日本では主なる食事としてある。我々が食事に際し第一に欠く可らざるもの即ち肉、パン、馬鈴薯は日本人の食膳には見受けられない近來日本の中流もしくは中流以上の家庭にては、肉類を次第に用ゆるがなほ日本人の多くは菜食家である。何故に日本人は肉を食はないたろうか。之れは疑ひもなく佛敎の影響であつて、佛敎に於いては生物を殺戮すると云ふ事は禁じられてある。日本人の主なる食物は米である。我々歐洲人には日本料理は美味とは思はれない。二本の棒きれを以て食物を口に迄運ぶ困難は大なる物である。私は自國の船隊が横濱につく毎に遊びにゆくのを何よりのたのしみとしてゐる。

マニラの話

小寺みさを

二四

早起き早寝
土人は皆朝は大そう早く漸く東が白むだかと思ふと直ぐに起きます、そしてそれ／＼働きます。何故なれば午前うちは十時頃まで涼しく働きます。その大變樂で御座いますから朝の内働いて晝は寐て暮します、正午お晝御飯を頂きますとそれこそお箸を置くと直ぐ横になりて午後二時まで晝寢を致します、これは一家内悉くでボーイに至るまで寢る事になつて居ります、それ故此二時間といふものは誠に此間が静で御座います、晩は大方八時に夕飯でやはり濟み次第に寢に付きます、かうゆとねて計り居るよう御座いますそれでも御存知の通り熱帶地で御座いますから此日中の暑さといふものは實に何とも申されませぬ位ですから此日中に働きますと大變身體に障りますから自然休むようになつて居ります、奇體な事に日本でも

夏なつひるねを致いたしますとあとが反かへつてボンヤリ致いたす
 そうですがマニラではそんな事ことはなく反かへつて二間
 時計かんばんり休みますとあとが大變たいへん元氣げんきになるそう
 で御座ごいます

午後五時ごごから公園こうえんに散歩さんぽに出でかける

ひるねから起きて少すこし何か仕事しごとを致いたしますと早はや
 四時じになりましてから外出ぐわいしゅつの支度しだを致いたし、それ
 おめかしをして馬車ばしやでルネタパークへ出でかけます
 此このルネタパークは丁度ていどマニラ港みなとの一部いちぶに面めんして
 居ゐりますから夕方ゆふがたは濱風はまかぜが誠まことに涼しやうしく皆みなこへ來き
 て一日いちにちの暑あつさを忘れわすれます、私わたしなども夕方ゆふがた此公園このこうえんに
 參まゐるのが一番いちばん楽しみで御座ごいます、コ、ナツワ
 の並木なみきの間あひだやイラングのよき香におひの下もとを涼しやうしい
 濱風はまかぜを身みに受うけてコンスタブラリーバントを聞き
 ながら馬車ばしやでフラ〜と散歩さんぽ致しますと晝間ひるまの暑あつ
 さは夢ゆめのように忘れて如何いかににもマニラはよい所ところの
 やうに思おもひました、之れ計はかりは一度御出ごいでになつた
 方かたでなくてはとも想像さうぞうがつかません、或方あるかたが一
 寸マニラへ御出ごいでになりました時に此夕方このゆふがたの散歩さんぽに
 御誘ごさそひ申まをしたら餘程よほど快こころよく思召おもほしたものと見えまし

て御歸ごかへりがけに香港ほんこんからも又長崎またながさきからも御手紙ごてがみでル
 ネタの夕涼ゆふらうみを思おもひ出すといつておよこしになり
 ました、

公園こうえんには何なにがあるか

此このルネタの公園こうえんは中央ちゆうおうに三つ音楽堂おんがくどうがありまして
 これには午後六時ごごろくじから七時しちじまで樂隊がくたいがあります、
 初めは米國人計べいじんけいりでしたが近年きんねんは土人どじんで中々なななく上手じやうず
 に致いたすようになりました一體いちたいマニラの土人どじんは非常ひじょう
 に音樂おんがくが好きで御座ごいますから唯ただれでも何かしら
 音樂おんがくを知しつて居ゐりまして又大變またたいへん上手じやうずで御座ごいます
 男おとこは大底おほぞこグイオリン又はギタツラをよく致いたします
 どんな田舎いなかに參まゐりましてもグイオリンの妙手めいしゅが居ゐ
 りますには驚おどろきました、又マンドリンをもよく致いた
 します、お話おはなしが側そばへされましたが其音樂堂そのおんがくどうのまわ
 りは一體いちたいに芝生しばになつて四方しやうほう八方はつぱうに細い道ほそみちが付つい
 て居ゐりまして三三五五さんさんごご打うつれて散歩さんぽ致します、こ
 ゝから少し離はなれて熱帶ねつたいの動物どうぶつが集あつめて御座ごいます
 つまり動物園どうぶつえんで御座ごいます自由じゆうに見みられるよう
 になつて居ゐります、其まわりには珍めづらしい熱帶ねつたいの
 植物しよくぶつがいろ〜植うえられて居ゐります、中なかにもダマ

デイチエといふ花が、あります。此は月が出ますと
 實に愛らしいよい香を出します。花は極く小さな
 もので色は葉と同じ色で御座いますから見まして
 も面白くも御座いませんがとにかくよい香が致し
 畫の内は香いませぬ、其他高い枝から根が出まし
 て地中に入つて居るののだ、大きな木に眞紅の花
 が咲きましたり一つとして目新らしくないものは
 御座いません、これらの間にベンチやブランコが
 御座います二三の銅像も御座いました、此公園に
 は日本のように店もなければ又何かの廣告のやう
 な物もありませんでさつぱりして居りますが只一
 つ小さい土人の子供が小さな箱を首からかけて、
 キャンデーを賣つて歩いて居ります、此公園の一
 隅にマレコンドライブといふところが御座います
 長さ二町計りありまして兩側はズツトコ、ナツツ
 の樹でコンモリとかぶさつて片側に海、片側は舊
 城内に面して居りますから、極靜でそこを散歩い
 たしますと何となく昔を思ひ出すやうで外國に居
 るやうな心地が致しませんでした、こゝに感心致
 したるは此公園に人道の外は悉く芝生になつて

居ります其芝生にはどんな小さな子供でも足をか
 けません日本なら子供たちが直ぐかけ込でコロ
 ガルのでせうけれども彼地の人とはとへどんな貧
 ひ人の子供でも決して其芝生に入りませんのには
 感心致しました、それに引きかへて或時日本の軍
 艦が入港致しましたら水兵たちの上陸をゆるされ
 ましたと見えて市中をあちこちと歩いて居りまし
 たが公園に行つて見ましたら、どうでせう其日本
 の水兵さんたちはてんでにバナ、を捧げて其芝生
 の上を平氣であちこちと歩いて居るでは御座いま
 せんか、私は冷汗せが出ました實に日本人は道徳
 心に乏しいと打寄つてなげきました事が御座いま
 した、あちらではどんな子供でも知つて居ります
 のにはほんとになさけない事だと思ひました、
 上流婦人の一日の仕事
 彼地の上流の婦人は全く遊んで計り居ります一日
 の仕事としてはピアノの稽古をしたり散歩に出た
 りする位なもので進むで何か致さうとする者はな
 いやうで御座います、

中流の婦人は

中流の婦人はナカノ、よく働きます、第一はよく洗濯を致し又食物を調理致し又裁縫を致します、娘さんなどは大方ピアノと唱ふ稽古を一日して居ります、ピアノの出来ないことは人中へ出られないやうになつて居ります、又近頃シーガーマシン會社で刺繍を教へますのでよく習つて居ります、が一體に教育はないよう、御座います、客の應對は誠に上手で人なれて居ります、其話柄は誠につまりませぬもので御座います、大底の婦人は日本といふ事は知つて居りますが、日本とはどんな所にあるものか、又マニラはも何日で行かれますが、知らず陸續きたとさへ思つて居るのんきな人も御座います、近頃米國政府から優等生は官費で米國へ留學させて居りますから米國から婦りました二三の婦人は中々開けてよくわかりますが其他の婦人はてんで御話になりませぬ、

交際は上手
然し皆交際上手で御座います、初めて參りました家でも決して窮屈な思ひをさせませぬ、その上日本人を大變に喜び歓迎致します、先づ參りますと手

を取り奥に導き家内中總出で交るゝいろゝな話をなしお得意のピアノを聞かせたりいろゝともてなしてくれれますから思はず時間を費やします、あちらでも來客がありますと先づ第一に煙草とマツチとを持つて來ます、あちらの人は婦人でも紙巻煙草をのみますから矢張り私どもにでも煙草を出してすゝめます、それから必ず。冷したビールを出します、私など初め随分困りまして一口でものみませんと大變失禮になるのださうですから仕方がありませんから一口位づゝ口を付けて返しまして、若しビールを斷りますとこんどは水をコップに一杯と甘いお菓子とを持つて來ます、これが通例で又メリエングと申て午後四時頃に參りますとコーヒーか又はチョコントにビスケットのようなお菓子やパンを出します、其あとで必ず水を出します、お茶はあちらでは、藥だと思つて居りますから宅などでお茶を出しますと不思議な顔して居てのみませぬ、風邪を引きますと直ぐに日本茶なり紅茶なりを熱くわがしてのみます、此時大底はパンにチースを付けて頂きます、若し

多人數集まりますと一室化粧部屋をこしこへて交るゝ其室につれて行つて白粉を付けたり髪を返じたりしてくれませう

娘さんたちは世間の事情に明るい此様に來客があれば家内總出ですから小さい子供の時から人の前に出付けて居りますからよく何か知て居ります、上流のお嬢さんたちでもよく物の値價を尋ねます之は私など初めは何かにつけて價を聞かれますので何となく變で御座いましたがあちらでも、それが恥でも何でもなく反つて知らないのでが恥かしいとしてあります、それ故買物に所に行つて見ますと其買方の上手な事ナカク私どもには出來ませぬ位で御座います、何故娘さんたちが物の價を聞き度がるかと申ますと、マニラの大方の商人は支那人で御座いました日本にて商買するようにならば彼等は非常な掛價を申します、それゆゑ若し自分が其物の價値を知つて居りませんと不當な利をむさばられます、實際私なども彼地に参りました當時は随分つまらない物を高く賣り付けられました、そしてあちらの娘さんたちは多くの

人に接して居りますから決して男子の誘にされるような事は決して御座いませぬ
娘たちが男子の訪問を受ける時間

夕方五時から七時までの間若い娘のある家に参りますと青年が多勢來てピアノを弾じたりダンスをしたり又はいろいろと話したり、それは賑で御座います、此時間内につまり男女交際のゆるさされてあるので御座いますからお嬢さんたちもおめしを着て待つて居ります又青年もそれはそればしやれて参ります、斯して若い男女が交際致しますますが、必らず嬢の兩親も出て、居りまして監督致して居ります、それ故娘に心ある者は勉めて娘の兩親の機嫌を取つて居ります、毎日此様に同じ事をくり返して居ります其間に互に意中の人を見出して兩親の許可を得て結婚致します、決して日本のように親が定めるのでは御座いませぬ、然し或る場合には互の兩親が承諾しない事も御座います其時當人同志で勝手にお寺に行つて結婚してしまひます、そうすると兩親も仕方なく許すといふ次第で、例へ自分の子供だからといつて親の思

ふ通りに計りなりませんが、何故なれば子供でも社
會の一員をして自由が與へられてありますから親
だからといつて抑へ付ける事は出来ないの御座
います。

オールドミスが澤山ある
前に申した通り自分／＼で探し出しますのですから
若し意中の人が見出されなかつた場合には例へ何
才になりても一人で居らなくてはなりません私
の心安く致して居りましたマニラ第一等の金持の
娘さんたちは一人も結婚する事が出来ないで上の
姉さんは早や五十何才とかいふて居りました此五
十何才を頭に六人の娘さんでしたがまだ一人も結
婚致しません、それは何故かと申すと其娘さん
には一人十五萬圓とかの財産が付いて居りますの
で男の方でもそれに相當した財産がなくては交際
するの恥かしいといふので當時マニラに居る人
は一人も此娘さん方の家には訪問しないさうです
又此娘さんたちも財産があるのですから大さう
威張つて居るさうですから男の方でも寄り付かな
いさうで御座います、とかてはたから定めてやる

といふ事は出来ないのですから大方此娘さんたち
は一生一人で暮しますので御座いませう、此様に
非常な財産のある人は却てオールドミスが多いよ
うで御座います。

マニラの通用語は何か
彼地でも只今は買物を致しますのに大底の店では
英語が通じますが今から六七年前まではすべてス
パニで英語のわかる人がなくて日本からいらし
つた方などは随分お困りになつたさうで御座いま
す、然しマニラの中流以上の家庭では未だスバニ
ンを用ひて居ります、別にマニラの土人だけのタ
ガロツクのいふのが御座いますが之れは下等社會
だけが用ひて居ります、此言葉は随分簡短でおか
しな言葉で御座います、ポイイなど雇ひますとス
バニンはわかりませんから此タガロツクをつかひ
ます、私など參りました當時は言葉に随分困りま
したが直きに覺えられました、一體あちらの人は
語學を覺えるのは非常に上手で御座います大概三
四ヶ國の言葉を知て居ります、又いろいろの言葉
を話すのを自慢にして居る許りでなく知つて居る

人はえらひ人として尊敬致します、フイリツピン群島中には十何種の言葉があるさうで御座います近頃はバブリックスクールですべて英語で教へて居りますから學校に參る子供は皆英語がわかりますようになりました、中流以上の娘さんたちはフレンチを習つて居ります。

中以下の婦人の仕事

は重に洗濯仕立物などのようで御座います、洗濯は大底一家の家から一ヶ月七圓とか八圓とかの定めで一週に一度づゝ洗濯物を取りに參ります、それ故に多く出しても少なく出しても同じ事で御座いますからハンカチーフからナフキンや布巾まで洗濯に出します、之等の婦人は朝早くから此洗濯物を持つて川に參りまして川岸にある石にたゝき付けては洗つて居ります、ナカく上手によく洗ひます、又中流の家では其主婦が下女などを相手に洗濯いたしましたしてアイロンをかけるのだけ人を雇つてさせて居ります、此アイロンをかけるに雇れまするは一四九十錢ださうで御座います、仕立物は大方中以上の家に雇れて致し

一日一圓位取ります、又極下の者は菓物だとか玉子だとかお菓子だとかを大きな籠に入れて頭にのせて市中を賣り歩きます、之等の女は概ねハダシで歩いて居ります、炎熱やくが如き日でも平氣でハダシで居ります多分足の裏が靴の底のようになつて居るのでせうと思はれます。

マニラの婦人は妊娠しても腹帯を用ひません前に御話し申たような物賣りは大きなお腹をして居りますも別に帯をする事もなくキラコの下着と更紗か何かのサヤとをして居る計で御座います、それ計りではなく尙驚きましたのは早や臨月に近いお腹をかへて居りながら平氣で半日位川のへりに入り込むで洗濯して居ります、しかしお産は至つて軽いそうで御座います、

産湯のかはりに水子供が生れますと直ぐに水の中へ入れて洗つてやりますそしてキラコでこしらへた着物を着せて板の間に薄べりを引いてそれにねかせて置きます、此様に生れて直ぐに水に入れますから水を使ふ事も何とも思ひません、それ故日本人はお湯に入る

と聞いて驚いて居ります、子供は稍成長致しますと、竹でハンモックに似たものを作りそれにねかせて柱から柱につるし、紐を付けて仕事をしながら時々引張りてコソツて居ります、子供を抱きますには自分の腰の骨の上にまたがせて脇に抱きます、時としては両手で両方の脇に抱いて居るのを見ます。

婦人は大變に賭事を好む

あちらの婦人は上中下の差別なく一般に賭事を好みます私は少しもはかりませんが、其遊ぶ札は矢張りカルタと申まして丁度トランプに似て居りますが、つまらぬ繪が書いてあります、何でも其繪を敷へて致すのだそうで御座います、此カルタの大變に上手な人は非常に御金を儲けるそうで、あちで、處々に立派な家が御座いますそれが大底其賭事で得たお金だと皆が申すのでも如何に此カルタが盛だといふ事がはかります。

男子の遊びは何か
此カルタは重に婦人の遊びで男子は競馬や鳥の蹴合ひを好みます、競馬は毎日曜日で公にお金を賭

けて致します、雞の蹴合ひもマニラから少し田舎に大きな小屋が建つて居りましてそこへそれく自分の持つて居る鳥を持つて出かけます、之れは或る田舎に見物に参りました時に一寸入つて見ましたが實に無慘なもので御座います、雞の蹴瓜に二寸許りのカミンリ様のものを結び附けて両方を怒らせて致しますから必ず、一方だけの方は其場で死んでしまひます、あちらでも此蹴合鳥を澤山持つて居るのが自慢ですから、裏の方は澤山の鳥が立派に手入れをして置きます、それ故、日曜日には大きな鳥を抱いてあちこち往來して居ります

マニラの人の食物

あちらの人は一般に食物は驕る居る方で御座います、朝マーケットに出で一日中の食物の材料を買ひ集め氷箱のない家では朝の内に悉く料理してしまひます、彼等の常食は豚が御馳走の部でお魚牛肉野菜といふ具合で、どんな其日かせぎの家でも必ず、肉類を頂きます、然し極貧乏人になりますとパンにバナ、を食べて居りますか又マーケットの中に支那人が之等のの人々の爲めに肉類などで支

那料理様のものを作りて賣つて居りますので、それを買つて願つて居ります。

○レントゲンスト

ラーレンの話

Y K 生

レントゲンストラレンと申しますと一寸むづかしいやうに御考になる方も御座りませうがエツクス光線と申せば大抵の方はア、エツクス光線かと御存知でせう、然しさらばエツクス光線とは如何なる物でせうかと御尋ね致した處でくわしく御存知のない方も少なくは御座りますまい、事實エツクス光線の本體は世界の學者が今なほ研究しつゝある問題でありましてエツクス光線とはかくの如き物なりと斷言するのは頗る大膽な事と云はなければなりません又かゝる専門的なる事はその道の人にまかせてをけばよいので一般の人々が深く

三三
エツクス光線の如き物に對し知識をもつ必要はないと思ひます然しエツクス光線が密度の小なる物體例へば木片肉等を容易に通過する能力がある物云ふことは三尺の童子と雖も皆知つてをり殊に近來は盛に醫學の方に應用され人體中に止まる彈丸の破片を見出すに用ゐたり腫物の治療に應用致したりする次第でありますからエツクス光線が如何に不思議なる魔力を逞うする物かと云ふ位のことには知つてをくべき事と思ひます、順序と致しましてエツクス光線の發見された歴史から述べますれば西曆千八百九十五年即今より十五年程以前に獨乙のレントゲンと云ふ學者が發見しましたそれでレントゲン光線(ストラレンは光線の意)とも云ひます、其の後學者の研究によればエツクス光線と云ふは不穩當でエツクス線とでも申さなければなりません、何故エツクス光線は光線ではないかと云ふ理由は多少むづかしくなりますが(尤もエツクス光線は一つの光線であると主張する學者もありますが一般には信じられて居りません)簡單に述べて見ませう、それには勢ひエツク

ス光線を生じさせる方法を一寸申さなければなり
 ません、どうしてエックス光線が生じるのでせう
 か之れはごく簡單でつまり空氣をごく稀薄にした
 グラス管中に電氣の火花を飛ばせばよいのです
 さすればガラス管を通じエックス線が出て参りま
 す、然し之れ以外にもラジウムと云ふ金屬はエッ
 クス線と同じ作用をもつ光線を出します、さても
 との問題にもどりまして何故にエックス光線は光
 線ではないかと申しますれば今一つの例を擧げて
 申しますると非常なる速度で進行いたして來まし
 た蒸汽船が突然岩石か暗礁かに衝突しましてその
 進行が止められたと致しますると蒸汽船の進行は
 止まりましたがその船の附近に一所に運動してき
 ました波はやはりなほ前方へ進んでゆきます、
 此の波にエックス線は相當してをる物です、即エ
 ーテル中にある力を持つてゐます物が非常な速度
 で飛んで來ましてガラス壁に衝突しますとそこで
 その物は突然止りますがその附近のエーテルの歪
 (前例の波に相當するもの)はガラス壁を通して
 前進します、之れが即ち所謂エックス光線です、

然し實は光線ではなくむつかしく申せば一種の電
 磁脈動とでも申さなければなりません、一體光線
 とは何ぞと云つて光線の定義をあげ光線の性質を
 エックス線は具備して居ないと云ふ事を一々列擧
 しなければエックス線は光線ではないと云へない
 のですがその問題は興味のない問題ではありませ
 んがあまり鹿瓜らしい議論になつてもいけません
 からだ、エックス線は太陽より我々の所に來る光
 線の如きものとは全くその趣きを異にしたものだ
 との觀念を持つていたゞけは充分です。
 エックス線の性質中にて一番よく知れ渡つて居り
 ますのは物體を通過すると云ふ性質です、けれど
 も何でもかでも皆通過するかと申すに決してそう
 でなくその通過する度合は大體物體の密度に反比
 例してをります、即ち紙布木片革又は肉など比較
 的密度の小さな物體はたやすくと通過いたします、
 けれ共鉛、白金、金、銀又は骨の様に密度のかなり
 大きな物は徹透しにくいのです、されば肉中に彈
 丸の破片などが入つてゐます時にエックス線で見
 ますれば肉はきれとうりて見えますが彈丸はすき

通つて見えす黒く見えます。

面白い事には太陽の光線などはガラスは自由に透過しますがエックス線はガラスは比較的通過しにくいのです、但し物體を通過する性質即ち徹透能は獨りエックス線が持つてゐるばかりではなく他にも徹透能を有する光線があります、よく見せ物にありまする舞台で若い女がたつてゐますと忽ちに於てその花の如き女が白骨に化して仕舞ひますあれは多くはエックス線の應用ではなく鏡を用ひてする手品です。

螢光作用その他種々なるエックス線の作用はありますが最後に於てはエックス線は危険なるものであることを御話し致しませう、エックス線は非常に劇烈なる化學的作用を有してゐるのであります、今人體にエックス線を集注させますと例へば汗腺の多き部分を選びてエックス線を集注させ暫時の後試験致しますと一滴の發汗もないやうになります、即ち汗腺の細胞を侵害する結果なのであります、外國である學者の助手があまり屢々エックス線に接した結果一種の不治の疾病に罹り倒れたと

云ふ事をききましたエックス線は皮膚系に恐るべき危害を加へるものです、獨り皮膚系のみならず生殖系に恐るべき危害をあたへます獨乙のシヨールンベルグが家兔の下腹部にエックス線を放射せしめて家兔を不妊性に陥らしめたこと云ふ實例があります、既に兎に然る以上は人體にありても同様にて又妊婦はエックス線の爲め墮胎をきたしたと云ふ例もありまます、エックス腺にふれた結果皮膚炎を起し一種の潰瘍におちいるの例もありまます、然しかく申しますると頗る猛烈の働きやうにきこえます、私などもエックス線に屢々あたつて居りますが何等の異變も危害も蒙りません。

エックス線は人體に潰瘍等を起す反對に又皮膚病腫瘍などを治するに有功なるものとして一般醫師社會に應用されてをります

エックス線は空氣をイオニゼーションする働きがありまして蓄電したる物體にエックス線を集注せしむれば物體は電氣を失ひまます、要するエックス線

は劇薬のやうな物であつてその分量によつては或は人を活かし又人に害を與へるものであります、エックス線を生ぜしむるガラス球には硬球と軟球とがありまして硬軟の度が球中にある炭素の作用により多少變化するやうにはなつてをります、エックス線に對する相當の知識と熟練とのない人にむかつてはエックス線は一般に危険なるものであります。

蔬菜類の家庭栽培

東京園藝商會篠氏談

家庭栽培として極く簡易な方法で蔬菜類の栽培が出来、出、來、る、之、を、行、ふ、に、は、今、日、此、頃、で、は、矢、張、り、苗、で、買、入、り、て、植、付、け、る、の、が、宜、し、い、緣、日、商、店、な、ど、で、も、澤、山、賣、つ、て、居、る、が、其、種、類、は、先、づ、茄、子、胡、瓜、菜、豆、玉、蜀、黍、刀、豆、唐、辛、紫、蘇、ト、マ、ド、ワ、南、瓜、苺、玉、蜀、瓜、等、之、等、は、皆、誰、に、で、も、容、易、に、培、栽、す、る、事、が、出、來、る、し、又、我、家、園、に、出、來、た、珍、物、と、し、て、臨、時、の、來、客、の、食、用、に、充、て、た、り、或、は、贈、物、と、す、る、事、も、出、來、る、或、は、又、兒

童のある家では之を娛樂用に供し若しくは教育の材料として植物思想を養はせることも出来るのである以上、の種類の外種子を播いて栽培するには四季とも何時播いても差支へ無いものである即ち二十日大根、鶯菜、小蕪菁、三寸人参(時なし)人参とも云つて、菘、龜井戸大根等即ち之である以上、嚴寒の候を除いて春初から秋晩に至るまで何時播付ても出来るものであるから素人の栽培には最も適して居て日々の惣菜に供すれば至極便利である又狭小な家園の三坪五坪位しか無いやうな畑地には葱、生薑、秋の馬鈴薯等は何時でも重寶で日用に供し得られる、稍廣い畑地を有する處では少々難しいかも知れぬが水瓜、真桑瓜、越瓜、冬瓜等も善い是等は特に専門の智識が要るけれども少しは試みに栽培して見るが宜しからう。

八月の末から九月に入つて秋蒔を爲すべき種子で西洋蔬菜物に面白いものが澤山ある之を素人には少し難しいかも知れぬが、然し充分の繁殖が出来ずとも可なりの收穫を得んとするには譯はない其種類を記せば甘藍、花野菜、木立花野菜、豌豆、

蠶豆、練馬大根、大蕪菁、三河島菜、唐菜、午莠、人參、葱、馬鈴薯等は皆秋に蒔いて善いものである、次には右等の栽培方法を記して見やう。

▲茄子の栽培

茄子には色々の種類がある、漬物に用ふるには山茄子（東京が本場）及び長茄子の二種がある、煮物又は鴨焼として賞味するには、京都芹川産の大茄子が最も良種で、種類の上から云つても稀物で少ない、尙ほこの外日向の佐土原茄子及び南部茄子、又は支那産のもの、西洋種のもの等々數ふれば却々多いが、何れも特色を具へて居る、之を栽培するには今から種子を播いては、少し時期が遅れて居るから、種物屋で苗を買入れて植付けけるのが宜しい、而して苗の栽る方は其間隔を二尺位宛離して栽る、肥料は重に下肥と木灰を與へ、其木灰に初め苗を植付けける際に根側へ施し次で時々下肥を與へて怠らなければ、次第に生長して盛に結實するのである、一體茄子には徒花が少ないから、毎日々々結實し誠に樂しみなものて一本の木に少くも五十個以上は成果する然し連作を嫌つて、今年茄子を栽ゑた畑地へは翌

年他の作物を栽ゑる方がよい再び茄子を栽ゑては其の作果は甚だ面白くないものである又茄子を五六十個も收穫して仕舞つて木の衰へた時分二百十日の風雨の爲めなどに木が斃れたりして傷むことがあるが此際には上部の枝を摘取つて再び他の畑地へ移植して更に肥料を施せば二度成と云つて再度作果するものである其成つた果粒は小さいけれども澤山に成るのであるから種々の調理に使ふことが出来る、特に芥子漬又は糠漬等に供して至極妙である。

▲胡瓜の栽培

胡瓜の早成種では三枚目節成胡瓜と云つて澤山作果するもの及び白俵等と云ふ種類は有名である又西洋種の長手で刺の無いのがある之は形狀長大であるけれども風味は我邦産のものに比べて大に劣る所がある。但し西洋胡瓜は其内部へ肉類を詰込んで食ふのであるから、自から其用途が違つて居る故に不味くても差支ないのである、胡瓜を栽培するには二様の方法がある即ち東京近在で行つて居るのは苗の時分に時々植替を行ひ先づ根を健全にして置き左様して許多成果さ

せるのである又關西で行つて居る方法は蔓の出た時其心を止め又出れば出摘取ると云ふ様にして枝を多く拵へ其枝毎に成果させる遣り方である双方とも實驗して見たならば其優劣が判つて面白からうと思ふ肥料は素人用には油粕又は糠を與ふれば充分生長して成果するものである。尙ほ又栽培法に一種面白い方法がある、普通には垣根又は竹竿を添へて蔓を纏せるのであるが素人用の菜園などでは立木の幹に蔓を纏はせるゝ初冬霜の降る頃までも能く生育して數多の收穫を爲すことが出来るのである。

▲菜豆の栽培、菜豆には蔓有りとなし無しの二種がある、日本の在來種では八つ房黒の蔓無し等が有名で、西洋種では米國のロングヘロー又はバランチフル等は評判が善い、栽培法は最も容易で素人用に適し、誰にても作ることが得、肥料は別段要らぬ位で、木灰を少し與へればそれで充分である。▲王蜀黍、之も菜豆と同じやうに栽培に世話が要らぬ、肥料も殆んどやらなくともいゝから家庭用に適し花壇の周圍、又は垣根の傍等へ栽ゑて置

けば善い、特に兒童のある家では、玩弄になつて面白いものである、種類は甘い味を有つて砂糖玉蜀黍、又は甲州玉蜀黍等は良好で、洋種には爆玉蜀黍と云ふのがあつて、實が爆せて出来る、總じて玉蜀黍の實を盛に成果させやうと思へば、成果する以前に、先づ穂が出て花が咲く、其花の咲く前に、穂端を折取つて置けば良好な實を得る事が出来る。

▲刀豆、垣根のある處では刀豆を栽ゑるのも面白い、之は赤と白と二種ある、肥料と下肥を與へぬ方が善い、第一扱ひ難いから素人には適せぬ、其れよりは糠又は木灰の類を少々施肥すれば充分繁殖する又之を食用に供するには、極若い夾の小さな時を見計つて採收し、味噌漬又は油で熱めて食すれば善い、成熟した後夾の堅くなつたものは食に堪へぬ、特に其赤色の種の成熟したものを食へば、中毒する時による發狂する恐れがある。▲唐辛、此れ亦栽培の容易なもので、誰にでも作り得る、食料以外に觀賞用としても却々美麗である、別に一種葉唐辛と云つて辛くないものが

ある、其葉を煮たり焼いたり醬油に浸したりして食へば酒の肴などに持つて來いである、日光唐辛は名高く、鷹の爪は形狀が小さいけれど辛味の強いことは一番、其他西洋種にも種類が甚だ多い、要するに以上は著名のもの二三を挙げたので、悉く枚擧すれば限りがない。

▲紫蘇 は赤と青の二種類がある、之は何處へ栽ゑてもよく出来るもので、肥料は別に要らぬ米の洗汁等を與へれば充分である、家庭の料理用には用途の多いもので、空地へ栽ゑて置けば至極重寶で便利である又梅を漬けるには是非必要である。

▲トマトー は一名赤茄子とも云ふ、元々洋種であるけれど、茄子と同一の栽培法で盛に繁殖する而して花の着いた頭枝端を止ぎ、摘取つて造ると、更に枝を出し、數多く成果するものである、種類は却々澤山あるが其最も大なるものに至ると、梨の果實位の大きさがある、之をボンデロサと云ふ、

又形の小さなものは、櫻實位で、之をチエリートマトーと云つて居る、我邦で現今栽培せるものはフリードント云ふ種類が最も多く、又果實の色彩

は赤と黃の二種がある、丁度昨今の季節に栽ゆれば、九月頃に成熟して食膳に供することが出来る。

▲南瓜 の栽培法は既記の胡瓜など、同様で垣根のある處ならば其れに蔓を纏はせ、又畑地の廣い處ならば地上に匍はせ、何處でも作ることが出来る、種類は縮緬(府下大崎村が本場)菊座(雜司ヶ谷種)京都の鹿ヶ谷、出羽の庄内、静岡の見付、九州の三毛門等が有名である、又西洋種には觀賞用のものが多くあつて、其形と云ひ色合と云ひ、奇怪な状態のもあれば又色彩の綺麗なものもある、是等を適用して支那風の陳列をする場合に、盛物に使用したならば趣があつて頗る面白からうと思ふ。

▲苺 之れは皆西洋種のみである、而して外國では年毎に新種を作り出し、今日では數多の種類の出來て居る、然し我邦で普通に栽培して居るのはピクトリヤドクトルモレル、アルガレット等が

多く、尙此の外に四季成と云ふのも上來て居る、若し空地の有る處では苗を買入れて適宜に栽培し

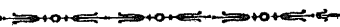
て試みるが善い、少し手を入れて世話をして遣れば盛んに繁殖するものである果實を結んだ頃に、根の側へ糞を敷いて遣れば、雨の爲めに泥の付くを防ぎ越冬の際は木の上から糞を蔽ふて置けば、別段霜除を爲る必要はない、

▲丝瓜　大長と云つて長さ五尺餘もあるのがある形は細長く最も大きい種類である、之を栽培せんには、肥料として別に要らぬが然し特に長大のを作らうと思へば、米の洗汗を時々與ふれば盛んに繁殖する、而して垣根の傍へ植ゑ、其れに蔓を纏はせて置き、其果實を結んだ頃は、誠に風雅で觀賞に堪ゆるものである、又其果實の極若く内部に纖維の未だ出来ない時を見計ひ、採取して漬物にすれば、食用に適し、又充分成熟して長大に成つたものを收穫すれば、之を水中に投じて置き、外皮を腐敗せしめ、内部の纖維だけを取つて乾し、貯へて置けば平常物を洗ふ時に用ひて甚だ重寶である、

▲蒔に物の役にたぬものを丝瓜の皮と云ふのは則ち之れで、其外皮は打捨て、内部の纖維のみを利用するのである

▲何時でも播ける種物は二十日大根、鶯菜、小松菜、小菁蕪、三寸人参の類であるが、二十日大根の中には根の色に黄、赤、白、紫、赤白半のものの等いろ／＼ある、又形状は蕪形のもの、眞圓のもの徳利形のもの等がある、之を栽培するには苗床を描へ、其れに植付けて、隨時採收して日常の惣菜に用ゆれば、根も葉もともに食ふことが出来る、又鶯菜小松菜等の早成生のもの、又は小蕪青、三寸人参等も時なしに何時播種しても差支ない而して何れも漬物又は煮物、汁の味等に使用すれば、自家の作物で日用の間に合ひ、甚だ重寶である、之等は畑から採收した後半は空間の出来次第、更に再び播種して置けば絶えず何でも收穫することが出来、頗る便利である、但し人参計りは十月以後栽培したものには赤く色付かず、黄色になるのが常である

▲葱は千住が本場であるが、栽培法は頗る面倒なもので、家庭用として少し難かしいけれども少量播種して置くには充分作り得ることが出来たさのみ難かしいことではない、若し便宜があつた



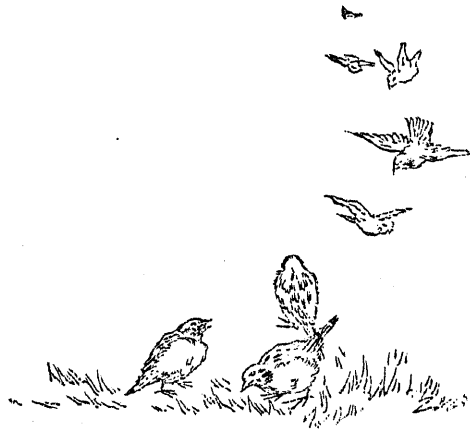
ら農家から若葱を分けて貰ひ、其を栽ゑて置いて
 食料に供するのが便利である、種類は千住葱、岩
 槻葱、下仁田葱等が良種である、又玉葱の栽培は
 更に一層難かしく、専門の技量を要し、到底家庭
 用に不適當であるから、茲には省略して置く
 ▲馬鈴薯を栽培するには、八百屋で泥芋を買つ
 て来て、而して縦横何れとも二つ切りにし、其切
 口へ灰を塗抹し栽ゑて置けば、發芽するものであ
 る、若し其發芽が餘り多過ぎた場合には芽を摘取
 つて健全なもの一二本のみを残して置けば善い、
 時期は八月頃栽ゑたものを十一月に掘起せば澤山
 美事な芋が成熟して居る、肥料は栽ゑる際に木灰
 を少量根側に與へ其後は薄肥を施せば充分繁殖す
 るものである

▲生薑 これも八百屋で泥付のを買つて来て栽ゑ
 て置けば時に臨んで役に立ち至極便利である、新
 生薑を作らうと思へば春四月頃に栽付くれば七月
 末には美事に出来る、而して之を作るには一の秘
 訣がある、この方法は一國の一方で行つて居る
 のである初め泥生薑を栽付ける際に根を逆さまに

して栽ゑれば其根の圍邊から簇々と新芽を發生し
 新生薑が澤山に採れるのである其遣り方は甚だ奇
 妙だが實際になる、或る植物學者は之を見て大に
 感服したと云ふが皆さんも一つ試験して見ても如
 何です

▲其他の蔬菜類 以上は極く普通の蔬菜類の栽培
 法に就いて述べたので家々の庭園で僅か三坪か五
 坪位の空地があれば之を利用して朝夕の惣菜の足
 しに出来る位のものを作るべき方法を示したので
 ある而して小松菜たの小蕪蕪、二十日大根の如き
 は何れも皆種子を買入れるに極めて廉價で手に入
 り又收穫すれば跡へくと繰返し幾度でも播種す
 ることが出来る、栽培法も又至極簡單で家庭で用
 務の片手間戀み半分に遺れるから娛樂と實益を兼
 ね其の上失敗がない栽培上成績の良いことは請合
 である尚ほこれ以上廣い畑地を持つて居て充分栽
 培の方法が立つて居る所では前に述べた種類の外
 に西洋蔬菜の甘藍、玉葱、花野菜、越瓜、人參等
 又は我邦産の特別な菜類若くは大蕪菁類等を少し
 専門的に栽培するのも一層趣味があつて面白か

らうと思ふ何れにしても種子を買入れる際には最
 も注意を要し發芽良好にして種類の正確なるもの
 を選まなければならぬ若しこの注意が無かつたな
 らば折角の勞力も徒らに無効となつて大失敗を來
 すことになる、然し乍ら本來蔬菜類であるから他
 の難しい花卉類の種子とは違つて全然發芽せぬも
 のは少なく大抵は發芽するに相違ないが種類の正
 確なるものを選ぶには大に注意を爲なければなら
 ぬ、そして地味の良否も栽培上大に關係のある
 もので砂利地又は粘土質の土地等は宜しくない、
 素人の家庭用には成るべく發芽し易い種物を選択
 して試験的に着手して見るのが最も安全で宜から
 うと思ふ



雜錄

●**幼稚園長會議** 第二回大阪全市幼稚園長會議は去月五日午前九時より西區役所樓上に開會、男園長十八名、園長代理主任保母十五名出席し市長代理楠祝學議長席に就き前回における市長諮問問題の答案につき討議を開始し

▲本市幼稚園に標準とすべき保育要目制定の件
▲同保育具の標準を定むるの件
に關する八上委員調査案は非常に浩澁のもの故印刷の上各園に配布して更に詳細の意見を記入し次回に討議することに決す

▲本幼稚園の毎週保育數 ▲同屋外保育と室内保育との割合如何は京極調査委員の報告を

| | 一週時數 | 一日時數 | 屋内 | 屋外 |
|------|--------|-------|----|----|
| 最年長組 | 二七—二二 | 五—四 | 五 | 五 |
| 中の組 | 二四—一九半 | 四半—三半 | 四 | 六 |
| 最初の組 | 二二—一七 | 四—三 | 三 | 七 |

と修正可決す
▲幼稚園にて個人的に使用せしむべき玩具の種類

は淺山調査委員の報告によれる玩具表を適當なりと決定したるも更に建議を以て「使用せしむべからざる玩具の調査」を次回までに委員を撰んで囑託することに決す

▲幼児考査簿様式制定の件
は野村委員の報告を不備なりとて再調査を依頼すると共に建議を

延期す最後に

▲幼稚園相互の適切なる保育研究

に就き熱議を重ねたる上(一)各區園長會(二)四區聯合園會長(三)首席保母會(四)四區聯合首席保母會(五)保母聯合會(六)實地批評會等を屢々開催することとして午後五時散會したり

●**墨西哥の奇習**

墨西哥では何品に依らず他國人に褒められると惜氣も無く之は貴方に進上ますと云ふ妙な習慣がある俗に云ふ褒賞として少々奮發し過ぎたもの實際に呉れる呉れぬは別問題として萬が一貰つては困るものもあるから御愛想にでも迂濶り他人の物は褒められない同國駐劄の英國公使サーズメンサーと云ふ隨分の年輩ではあるが西洋には多くある獨身者或は墨西哥の婦人連と携へて公園を散歩して居た折柄何處かの子守娘が可愛らしい子供を連れて來たのを見ると其子供が如何にも可憐なので一同は足を停めて其子供に愛想をして居た公使も可愛さの餘り何處の子供だと聞いたが子守娘は「旦那様此子供は貴方に差上ます」と丁寧な積で例の返答公使はハタと當惑して返す言葉もなかつた想であるが其後は之に懲りて如何に可愛い子供を見ても褒めもせず親の名も聞かなかつたとの話家とか山ならば未だしもの事子供迄も即座に進上と云ふに至つては如何に習慣とは云へ御挨拶の甚だしき痛み入らざるを得ない



お伽訓話

花子

とよ子

たのしみに待まちにまつて居をた夏なつのお休やすみになりましたので私わたしは毎日まいにちくお庭にはに出てはうつくしい孔く雀じつ草そうや。松まつ葉はぼたんなどの花はなに水みづをやつたり金魚きんぎょやヒヨツコに餌えをやるのを何なによりたのしみにして居をます。が時とき々ときまりが。花壇くわだんやお池いけへころがりこんで。花はなや金魚きんぎょをびつくりさせる事ことはありますが其そ他たのおいたはちつともしないつもり。私わたしはもを少すこしねると幼おと稚ち園えんを卒そつ業げつするのですもの。けふは朝あさからむしあつくお母おさんあも姉ねえさんも額ひたのわきへ紙かみをはつて八はちの字じよせては頭あたまがいたいくといつていらつしやる。私わたしはなんともないのでお家いへの内うちの

遊びにあきましたから一つお庭へ出で涼しい藤棚の下にでも行つて。菟をつきませうと。とんで行きました。箒でどろをきれいにはき

一二三四おみよの景色をお春とながめてホーホケキヨ〜鶯やく〜と一生懸命上手に歌つてつひて居ますとどこかで

ではいつておいで。けれどもいくら暑くても決して金魚の眞似してお池の水へ入つてはいけませんよい、かい

と優しい聲がします。私は不思議でたまりません。丁度お母様が私におつしやるやうな御言葉ですもの。だれがあんな事いつたのかしらと。方々見廻しますと

一匹の大きいまい〜つぶろと一つの小さい子供のまい〜つぶろとが垣根に止つて居りました。やがて小さいまい〜つぶろは。ひよろ／＼しながら飛石

傳にお庭の向ふへと遊びに行くのです今のはお母さんのまい〜つぶろが心配してよくいひ聞かせて居た御言葉でしたのですのね私は菟の事など忘れてしまひ。子供まい〜つぶろがどこへ行くのか一つ見ませうとそろ／＼と後をつい

て行ききました。すると子まいくつぶろはさもくうれしそうに

あゝ漸く廣々した處へこられたお母さんはなせあんなにやかましいのだらふ
 此暑いのにあんな狭つくるしい處に居られやしない金魚だつて蝶々だつて皆
 てんでに方々へ遊びに行くのに私許りどこへも行かれずほんとなつまらな
 かつた。けれどもけふは一つ獨りで遠くへ遊びに行つて來ませう。けれど此背
 中の家が邪魔になるな

なんて長々と獨言しながら御池の測へと行きますので私はおちてくれなければ
 いゝが。あぶないくと思ひながら見て居りました。敷石のはちがら滑り落ち
 そうにしたり小石につまづいたりしながらいよく御池のふちの石へとはいつ
 きました。何か云つて居るやうですからよく聞けば

あゝくやつとこゝ迄來たなる程お母さんのいつも云はれる通り中々たぶ
 れるわい。けれども又何といふ景色。おやあそこに美しい金魚が居るあつひ
 つこんだ。又こつちへ浮いた。あゝ面白そうだ事。おやく大きい鯉も居る

あら龜の子さんも今一寸見えた。あゝ、皆んなは冷たい水の中にたのしく
 氷で居て。汗なんてかく事はないだらふ。僕も此迄せつせと歩いて來たの
 で汗びつしよりになつた一つ水行水でも使つてさつぱりしたいものだ。どれ
 ぐ一つ此家をこゝ置いて

と云つて家をぬき捨て乍ら

あゝ之で輕くなつた之でよし

などと喜び乍ら二本の角をさもうれしそうにふり立て、だんぐ水の中の方へ
 と行きますから私は心配でたまりませんでした。先程から急に曇つて居ました
 が。にわか雨がどつと降りだしましたのでいそいで御家へ入り雨のやむのを
 まつて又行つて見ました處が。金魚や。鯉は皆岩の下へかくれて居たと見え平氣
 で水のふつたのをさもよろこばしきうに氷いて居ましたが可愛憎にさつきのま
 いぐつぶろはとうぐ水に溺れて死んで居りました。大きいまいぐつぶろ
 が定めし心配して居るでしやうと可愛憎になりましたからいそいでお母さんや

姉さんねえに此お話をこのはなししましたらお母さんかあか

まいくつぶろ許りはかではなく。どなたでもお父さんとうやお母さんかあやお姉さんねえのおい、つけにそむくとそう云ふ目めにあいますよ

とおつしやいました私わたしもほんとうにそうと思ひおもましたから之これからは今迄いままでよりもつとよくおい、つけを守らふと思ひおも。お母さんかあにそう申まをしました。お母さんかあは

花子はなこはよい子こよくそう云ふ事ことに氣きがつかましたね

とおつしやつて可愛人形あいじんぎやうを下くださいました。學校がくかうが始はじまつたら皆様みなさまにも此お話しこのおはなして上げて皆みなよく云ふ事ことをきくお子こになるやうにしませう。

仲なかよし

ある家いへの仲なかのよい猫ねことカナリヤとが旅立たびだちしました。カナリヤは猫ねこの背せに上のぼりてたのしく参まゐります中に日ひが暮くれましたので。森もりに一夜ひとやをあかす事ことにし猫ねこは樹きの下したで洞穴ほらの中なかに入はいつて眠ねむり。かなりやは高い枝えだに飛とひ上あがつて眠ねむり始はじめました。つかれにくくよく眠ねむりましたがカナリヤがふと目めをさしますともう太陽たいやうが

さら／＼東の山を離れ涼しい朝風がそよ／＼吹きますので何とも云へず楽しく
 二聲三聲高く嘯りました。それを聞つけた木鼠は

「おや／＼けさは何と云ふいゝ朝だらふ早く取つて皆でたべませうさあわたし
 は此枝から行く。お前はこゝらからお出」

と大騒ぎして今にも飛で行かふとします。猫はあまりの騒がしさにふと目をさ
 ましますと。何も知らぬカナリヤはさもうれしそくに歌つて居ますので大事の
 友達の命を取られてはと。日頃とぎにといだ爪をむき出し馳け昇つて皆鼠を食
 べてしまいました。そして又カナリヤと二人毎日たのしい旅をしました。心な
 い獣でもお友達とは仲よくしますとさ。めでたし。

フレイベル會規則

- 第一條 本會ハ幼兒保育ノ改良發達ヲ圖ルルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハフレイベル會ト稱シ東京ニ置ク
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒保育ニ篤志ナルモノニシテ會員ノ紹介ヲ經ベシ
- 第四條 會員ハ本會ノ經費トシテ一ヶ月金拾錢ヲ齎出スベシ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルモノハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルベシ
- 第六條 本會ノ目的ヲ達センガ爲ニ左ノ事業ヲ行フ
 - 一 總會、毎年四月廿一日之ヲ開キ保育ニ關スル演說、談話、保育參考品幼兒成織物展覽、會務ノ報告、幹事ノ選舉等ヲナス
 - 但シ會日ハ會長ノ意見ニヨリ之ヲ變更スルコトアルベシ
 - 一 常會、毎年二月、六月、十月、十二月ノ第一土曜日之ヲ開キ保育ニ關スル演說、談話、協議、實驗等ヲナス
 - 一 組合會、會員中特ニ或ル事項ヲ研究セントスルモノヲ以テ組織ス
 - 但シ別ニ組合會規約ヲ定メテ會長ノ承認ヲ經ルモノトス
 - 一 雜誌發行、毎月一回雜誌ヲ刊行シテ之ヲ會員ニ配布ス
 - 一 前項ノ外本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一人 會務ヲ總理ス
 - 主幹 一人 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 幹事 若干人 會長ノ指揮ヲ受ク會務ヲ分掌ス
 - 評議員 若干人 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ズ
- 第八條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第九條 主幹、幹事、評議員ハ會長ノ特選トス
- 第十條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ルルコトアルベシ
- 第十一條 此規則ハ會員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

幼兒談話材料

坊間のお伽話は多くは小學校時代の子供には適しても幼兒には適さぬものです。是は本會に於て特に幼兒の爲めに編纂しましたのでおばさんやお母さんが幼兒のお伽には必要なのです。本書にない話は本書を標準として作話なさることが出来ませう。

定價 金四拾錢
郵税 金四 錢

手工圖形

幼稚園恩物の使用法を圖示したもので幼兒をして造らしむ可きものと保姆の造りて與ふ可きものとを併せて載せてあります。

定價 金五拾錢
郵税 金四 錢

幼稚園遊戯

幼稚園に於ける共同遊戯を説明したものです。小學校の初年級や家庭に於ても頗る有用だらうと存じます。

定價 金四拾錢
郵税 金四 錢

本會員の方にて右三書同時に御注文の方には合計代金郵税共金壹圓に割引可致候

（同 一月 每）
（行 發 日 五）

も 子 と 人 婦
號 八 第 卷 十 第

（日 八 廿 月 一 年 四 十 三 治 明）
（可 認 物 便 郵 種 三 第）

上 坂 中 段 九 京 東

館 ル ベ ー レ フ

目 課 業 營

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|
| 學 校 用 品 類 | 家 庭 教 育 資 料 | 幼 稚 園 用 諸 表 簿 類 | 幼 稚 園 用 書 籍 類 | 幼 稚 園 用 玩 具 類 | 幼 稚 園 用 繪 畫 類 | 幼 稚 園 用 遊 戲 具 | 幼 稚 園 用 運 動 具 | 幼 稚 園 用 機 腰 掛 | 幼 稚 園 用 材 料 | 幼 稚 園 用 恩 物 |
|-----------|-------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|

呈 進 表 價 定 第 次 報 一 御

電話番町二七一
振替口座東京一九六四〇

明治四十三年八月一日印刷
明治四十三年八月五日發行

編輯兼東京市小石川區竹早町七二
發行者 和田直詩

印刷者

東京市本所區番場町四番地
守岡功

發行所 フレーベル會
東京女子高等師範學校內

會

製 謹 具 玩 案 新 館 ル ベ ー レ フ

幼兒繪がるた

材木製肉筆

六十枚壹組 説明書付

正價五十錢
送料八錢

組立積木

インチ製 四十錢
和尺製 四十八錢
送料八錢

幼稚園用積木あれば台、屋根等附屬のみにて足る

附屬品正價

インチ製 二十錢
和尺製 二十四錢

恩物ゴマ

六ヶ入貼紙
五十枚付 拾錢

シングルベルス

正價四十錢

以上説明前號にあり

教育ゴマ

正價六ヶ箱入
金參拾錢

面白くてたまらない、而も教育的の獨樂がで
きましたた臺があつてそれ柱が柱の上にある獨
樂は其の上で廻る廻つてそれ柱の上にある獨
つて落ちない、獨樂は三原色を塗つて其の間
に三間色を塗つたもので自然に色の調合
が解る臺は三區劃して各區に庶物の繪或は德
目を書いてある、獨樂は廻り了つた時何れか
を指す之を豫め云ひ當てる様になつておる其
の云つてゐる間に庶物の名前を覚え徳目が暗
記せらるゝのである。